

鳥取市における地域福祉事業の取り組みの成果と課題

鳥取市社会福祉協議会

1 平成29年度地域福祉事業実施状況一覧表 (別表)

2 地区社会福祉協議会 (地域福祉推進協議会)

概要	住民一人一人が社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくため、地域住民や町内会、自治会、民生委員児童委員、その他各種団体から選出された代表者によって構成された住民組織
設置地区	計41地区 (内訳) 鳥取地域33地区/新市域8地区 (旧町村単位) ・新市域の地区社会福祉協議会 (地域福祉推進協議会) について 鳥取市と周辺8町村の合併にともない平成16年11月1日に結成

3 主な事業

(1) ふれあい型食事サービス事業 (平成4年～)

概要	ひとり暮らし高齢者等の食事支援と安否確認 (配食型)
実績	38地区
成果	・地域にも浸透しており地区社会福祉協議会の柱の事業として認知されている ・利用者が増えており、多くの方に利用いただいている
課題	・ボランティアの高齢化と担い手不足 ・配食から会食型へ移行した地区、今後検討をしている地区もある ・担い手不足による今後の事業の在り方

(2) とおり組福祉員設置事業 (平成4年～)

概要	町内会 (集落) から選出された地域福祉の推進役
実績	37地区 1,815人 (本会委嘱)
成果	・地域での見守りや助け合いの意識づけのきっかけとなっている ・ネットワーク形成につながっている
課題	・活動内容、目的、役割が十分に浸透しておらず、形骸化している ・町内会 (集落) ごとに取組みに温度差がある ・1年で交代する町内 (任期2年間) では活動の継続性に欠ける ・福祉関係者との連携ができていない ・今後の事業の在り方

(3) 愛の訪問協力員設置事業 (昭和56年～)

概要	ひとり暮らし高齢者の見守り、声かけ活動
実績	37地区 1,191人 (本会委嘱)
成果	・ひとり暮らし高齢者の身近な支援者として孤独感を和らげ安心感

	を与えている ・見守り活動により、変化に気付き早期発見につながっている
課題	・となり組福祉員と活動内容が似通っており、役割が住民に理解されにくい面がある ・個人情報、情報共有（プライバシーの問題）の取り扱い ・担い手の高齢化 ・今後の事業の在り方

(4) ふれあい・いきいきサロン事業

概要	地域住民相互の交流の場
実績	38地区 346サロン（平成30年8月現在：383サロン）
成果	・新規サロンの増加により地域住民相互の交流が図られている ・助成金申請により本会とサロンとの接点ができ、地域のニーズ把握の足掛かりとなっている
課題	・申請数増加に対する助成基準の在り方や財源確保 ・サロンの精査、整理（趣味活動目的のサロンと住民相互での見守りサロンとの区別） ・未申請サロンの把握 ・継続支援の在り方（助成金だけではなくソフト面の支援）

4 生活支援コーディネーター配置事業（平成27年度～市受託事業）

概要	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす役割
配置	8名（平成30年度）
成果	・年次的にコーディネーターの配置が増え（H27.1名→H28.4名→H29.7名→H30.8名）、地域への参画、社会資源の把握等の機会を増やすことができている ・地域の各団体や事業所とのつながりができ、地域内の支援体制が少しずつではあるが強化されつつある
課題	・全地区に協議体（地域課題を話し合う場）を設置することを目標としているが、地区の状況、課題も大きく違うため、進捗状況は大きく差ができ、画一的に進めることができない

5 今後の取り組み

現在行っている事業の在り方、見直し等を行う

各地域課題の対応等については生活支援コーディネーター、本会総合福祉センター職員等が中心になり働きかけを行っていく。